

新聞のご購読については 0120-461-497
電子版のお申し込みは

日刊自動車新聞 電子版 検索

日刊自動車新聞

発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区芝大門1丁目10番11号
購読料 1カ月5343円＋税
電話 東京 (03)5777-2351代表
©日刊自動車新聞社2020
7月3日
(金曜日)

Twitterの公式アカウント
@nikkanjidosh
始めました

タイヤ部門賞

横浜ゴム
Blue Earth-4S AW21
都市部を中心に人気が高まっているオールシーズンタイヤ。急な降雪にも慌てることなく対応でき、スノーフレックマークの認証を受けている。雪に強いタイヤとして、独自のオールシーズン専用方向性トレッドパターンを採用し、効率的な排水を実現した。また、オールシーズン3Dサイプは、ブロックの倒れこみを抑え、ドライ路面での剛性を確保している。サイズは14〜19インチまで用意され、幅広い車種に対応している。



ホイール部門賞

マルカサービス
MID Rapid Performance ZX10 MID Rapid Performance (ラピッドパフォーマンス) ZX10は、MID (マルカ・インテリジェント・デザイン) のこだわりを注ぎ込み、製品として具現化。低価格でありながら、日本基準の品質を追求した。鍛造スノー用のZ E 10のカラーリングなどに変更を加え、オールシーズンモデルに昇華。スノー用の全塗装を



変更し、フランジレッドラインを入れるなど、スポーツ感を表現。軽量化も追求し、カービングリムを採用している。

ドライブレコーダー部門賞

加藤電機
HORNETセキュリティドライブレコーダー HSD R 300-701

カーセキュリティ市場トップシェアの同社が発売した業界初の3カメラ対応カーセキュリティ連動型ドライブレコーダー。夜間でも前方/車内の映像を高画質で同時録画できるデュアルカメラを搭載し、走行中だけでなく駐車中でも車内へのいたずらなどの異常を検知した場合にセキュリティが威嚇警報しながら車の周囲を録画する。リアアタック対策機能、大画面3インチフルカラー液晶モニター、寒冷地対応なども大きな魅力。



バッテリー部門賞

ジーエスユアサ バッテリー
ECO.R series GSユアサの乗用車向けバッテリー「ECO.R series (エコ・アール シリーズ)」は、電子化・高度化が進む車面と使用環境の変化に対応し



て進化を続けている。新開発技術の採用と用途に適した専用設計により、優れた耐久性、充電受け入れ性、安全性を実現した。アイドリングストップ車、ハイブリッド車、充電制御車やEV規格(欧州規格)を搭載した日本車など、さまざまな乗用車に対応し、4シリーズで幅広いラインアップをそろえる。

車内快適部門賞

未来科学
TOHPO 消臭機能付 PVCカーマットシリーズ

大阪ガスケミカル社が開発した消臭機能を持つ薬剤をPVCに練り込んだ。生ごみ臭などのもとになる硫化水素を95%減、アンモニア臭は50%減、汗などの臭い成分の酢酸は97%減を実現。ラゲージスペースやシートの足元などにも使えるフリーカットタイプも発売した。国内自社工場で原材料生成から品質管理まで一貫生産できる点を強みとする。収益拡大を狙う新車販売店などにとって付加価値提案可能な製品となる。



カーオーディオ

ドクターデオシリーズ 発売から10周年を迎え、累計販売個数は820万個を超える。除菌消臭成分に安定化二酸化塩素を採用し、空間に浮遊する菌、悪臭成分、ウイルスも除去。車載用、家庭用などの専用ラインアップをそろえ



る。新型コロナウイルス対策による除菌ニーズの高まりとともに、販売が急拡大。生産体制を拡充するなどして対応した。また、ユーザーの要望を取り入れた新型を3月に発売。ファンクション機能で使いやすいを向上させている。

オーディオ

Aodea for Silent
車内の最高の音質と静粛空間を実現するブランド「Aodea (オーディア)」が生まれ変わった。アイテムを組みなおし、制振・吸音・防音に最適な素材と設計にした。「for Silent」は、走行時に発生する風切り音、ビビり音などに対応し静粛空間を創り出す15アイテムを用意した。アイテム数の削減や素材・形状を見直し作業性や耐久性を高めた。D I Yのハードルを下げ、初心者でも快適な車内空間を実現できる。



洗車・コーティング部門賞

中央自動車工業
CPCファブリックコーティング CPCファブリックコーテ

ィングは、新車の車室内の美しさ、快適さを守る自動車シートへの防汚コーティング。ファブリックシートの繊維の1本1本にコーティング被膜を



形成することで、汚れのしみ込みを防ぐ。優れた防汚効果と安全性の高い水溶性の溶剤を使うことで肌や環境にも悪影響を及ぼすことなく、コーティングの効果も約3年持続する。新車ディーラーのビジネス拡大に寄与することを狙う。

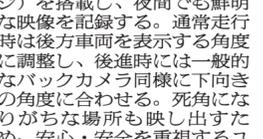
安全サポート部門賞

サン自動車工業
S-DRIVE 誤発進防止システム2 アクセルとブレーキの踏み間違いによる事故が社会問題化する中、ニーズが再燃し、高齢社会となる現代では今後さらに需要が拡大するとみられる。普通車から軽自動車まで幅広い車種に対応。個人ごとの運転に合わせた設定やON/OFF機能などを搭載。システムの作動時は音と光で知らせる。販売店に向け、取り付けに関する研修を他社に先駆けていち早く行うなど、安全に関する部用品を扱う上での配慮も伺える。



イノベティブ販売
スマートルームミラー SRM-1

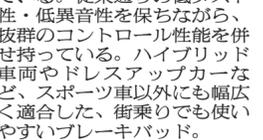
バックカメラ連動型のルームミラーの採用が増えるなか、ドライブレコーダー機能を搭載したスマートルームミラー。STARVISやWDR (ワイドダイナミックレン



ジ)を搭載し、夜間でも鮮明な映像を記録する。通常走行時は後方車両を表示する角度に調整し、後進時には一般的なバックカメラ同様に下向き角度に合わせる。死角になりがちな場所も映し出すため、安心・安全を重視するユーザーから支持を得ている。

カスタマイズ部門賞

エンドレスアドバンス
Super Street M-sports PLUS 超低ダストプレーキパッドで人気を博したSSM。さらに摩擦係数を最適化し、ローター適正温度も向上し、ストリートとスポーツ走行のパラメータを重視するユーザーに支持されている。従来通りの低ダスト性・低異音性を保ちながら、抜群のコントロール性能を併せ持っている。ハイブリッド車両やドレスアップカーなど、スポーツ車以外にも幅広く適合した、街乗りでも使いやすいブレーキパッド。



防災用品部門賞

あかりみらい
安心給電キット

「あなたの車を発電機にする!」をキャッチフレーズに評価を高めている。普通車や軽自動車でもインバーターと同製品を組み合わせることで、自然災害などによる停電時などに大きな役割を果たす。新型ハイブリッド車であれば、1500Whまでの給電が可能。携帯電話の充電やパソコン、テレビ、LED照明、炊飯器、扇風機などさまざまな電化製品を使うことができる。過電流を防ぐ電子ブレーカーや電流インジケータの内蔵により安全性も高い。

パテック
車載防災セット 災害時、非常時に車内に必要な内容を防災士がジャンル別に企画した車載用の防災セット。超長期保存7年の食材をはじめ、凝固剤不要の非常用トイレ、防災用簡易ライトなど、車載用に厳選したアイテムをセットした。これらを受納する多機能防災リュックは、防水仕様となっており、いざという時、パケツにも使える。豊富なバリエーションも特長で、一般ユーザー向け、運送業者向け、女性向け、子ども向けなどを揃えている。



準グランプリ

(カーナビゲーション部門賞)



パナソニック
サイバーナビ AVIC-CQ910-DC 市販ナビとして初めて車内向けインターネット接続サービス「docomo in Car Connect」に対応した。付属のネットワークステックを接続すれば、ドコモの高速データ通信を定額使い放題で利用できる。また、サイバーナビがWi-Fiスポットとしても利用でき、最大5台までスマートフォンやゲーム機などの機器をつなげて利用することが可能。ウェブブラウザを使用してYouTube動画を簡単に再生できるストリーミングビデオを搭載するなど、エンターテインメント機能の充実を図り、カーナビの可能性をこれまで以上に高めた。

住友ゴム「ビューロVE304」がグランプリ



住友ゴム工業のVEURO (ビューロ) VE304は、プレミアムコンフォートタイヤ「VEURO」シリーズとしては7年ぶりの新製品。高い静粛性と操縦安定性で最上級の快適な車内空間の実現を標榜する。ウェットブレーキ性能は従来品から7%向上し、最高グリップのラベリング「a」に加えて、摩擦による性能低下も抑制する。タイヤデザインにもこだわりを持ち、著名なカー&プロダクトデザイナーである和田智氏にデザイン監修を依頼。レーザー微細加工による上質な外観を演出し、サイドウォールにもデザイン性を醸し出している。

概要と選考方法
〈対象製品〉2019年4月〜20年6月の期間に発表・発売され、アフター市場で注目を集めた製品(自動車メーカーの純正品は除く)。
〈賞内訳〉グランプリ・準グランプリのほか、タイヤホイール、ドライブレコーダーなど15部門とロングセラーや特別賞を設けた。
〈選考方法〉本紙紙面での掲載やカー用品販売店、整備専門学校の学生などの協力のもと実施したアンケートを参考に、本紙記者らで構成する選考委員会で選定。販売数量だけでなく、商品開発のアイデアや話題性、業界貢献度、社会状況なども踏まえて総合的に判断した。

33rd 日刊自動車新聞 大賞 用品 2020

アウトドア用品部門賞

セルスター工業
正弦波インバーター SI-1500/12V-SI-1500/24V

キャンプや車中泊、電源のない屋外での作業時、災害時などに効果を発揮する。家庭用コンセントと同じAC100V出力で、電子レンジ、IH炊飯器、電気ポット、電磁調理器、電気毛布、扇風機などを使うことができる。車載用バッテリーと接続でき、2つのUSB出力を搭載し、同時に使用することが可能。自然災害時の備えやアウトドア人気の高まりとともに、今後のさらなるニーズ拡大が期待される。

能やアームレストなど、細やかな調整が可能。同社製のリクライニング・フルバケットシートが装着できる。今後、G T-Rやスーパーなどの取り外した純正シートを装着できるタイプも展開していく。

アピオ
荷室フラットデッキリアシートを倒した際に、荷室をフラットにする設置ボード。クリップオンで着脱が容易で、リアシートの稼働を妨げないように設計されている。



る。ジムニーJ B64・ジムニーシエラJ B74専用で全グレードに対応。スチール製ながら、曲げ加工とパーリング加工で強度を持たせながら、軽量化も施した。中央下部にはスタンドが装着され、お好みで荷物を置いても、下部スペースを有効活用できる。

ボンフォーム
送風クッション クールシェン EX ダブル(ハイバック) 足元のファンから空気を取り込み、風力で身体を冷やすハイバック式取り付けタイプの強力送風クッション。電源プラグをさすだけで使用でき、無段階のコントローラ付きON/OFFスイッチを備える。ハイバックタイプとしたことで、従来タイプの臀

部・背中に加え、新たに首元まで涼風が流れる。12V・24V兼用で乗用車だけでなく、トラックにも使用可能。便利な収納ポケットも付いている。



車内オフィス化部門賞

サンワサプライ
車載用ノートパソコン台 CAR-SPHLD1

コロナ禍で話題になった、車内オフィス化。3密を避け、場所を問わずテレワークすることができる。助手席のシートレールに固定すること

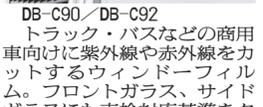


で、耐荷重が静止時5kg、運転時は2kgまでと、用途によって使い分けができる。各関節の調節が可能で、アームの高さや角度、トレーの角度を簡単に調節できる。使用しない時はアームが取り外せ、折りたたむためコンパクトに収納できる。新時代のビジネスサポート商品。

大型車部門賞

エルエフティ
ダブルリアフィルム

DB-C90/DB-C92 トラック・バスなどの商用車向けに紫外線や赤外線をカットするウインドフィルム。フロントガラス、サイドガラスにも車検対応基準をクリアし、独自開発の高広域熱遮断により、赤外線遮断率は97%、UVカット率は100%とした。また、商用車の湾曲したガラスにも施工できるように耐熱温度を上げ、熱成形しやすくなった。ドライバー不足などが課題となる大型車業界において、働く環境の改善策につながるものと期待される。



二輪車用品部門賞

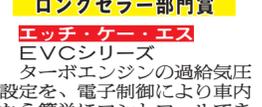
ミツバサンコー
バイク専用ドライブレコーダー EDR-21G

前後2台のカメラが、「もしも」の場合に備えて、ライダーに安心感をもたらしてくれる。広い視野角、高画質200万画素フルHDと明るく強いWDRが搭載され、夜間や明暗差が激しい場合でも、明確な映像を記録することができる。



ける。また、GPSが搭載され、位置情報や走行軌跡を録画データと共に記録でき、専用アプリで再生も可能。走行時の振動が激しいバイクの特性を考慮して設計され、全パーツが防水・防塵が徹底されている。

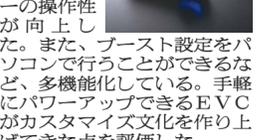
ロングセラー部門賞
エックケー・エス
EVCシリーズ ターボエンジンの過給気圧設定を、電子制御により車内から簡単にコントロールできる「EVC」はライトチューンの定番となっている。1988年の発売から32年を迎えた今年、7代目の「EVC7」が発売された。より進化したEVC7は、フルカラーの液晶が採用され、コントローラーの操作性が向上した。また、ブースト設定をパソコンで行うことができるなど、多機能化している。手軽にパワーアップできるEVCがカスタマイズ文化を作り上げてきた点を評価した。



アルプスアルパイン

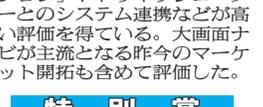
アルプスマーケティング
BIG Xシリーズ

2010年にBIG Xシリーズを市場投入してから10年が経過し、「車種専用・大画面カーナビと言えはBIG X。と市場からの認知が浸透した。ミニバンユーザーや子育て家族をメインターゲットに、11型大画面や高画質WXGAディスプレイの搭載、「リアビ



ジョン」やドライブレコーダーとのシステム連携などが高い評価を得ている。大画面ナビが主流となる昨今のマーケット開拓も含めて評価した。

特別賞
スズキ
ジムニー/ジムニーシエラ 2018年7月にフルモデルチェンジされたジムニー/ジムニーシエラは、関連するアフターパーツ用品も数多く発売されるほか、専用コーナーを設



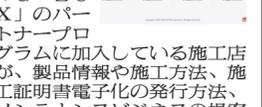
ス)earningSTEM) カーディング プレミアムブランド「G'ZOX」のパートナープログラムに加入している施工店が、製品情報や施工方法、施工証明書電子化の発行方法、メンテナンスビジネスの提案をパソコンやスマートフォンで学べる。会員施工店にタイムリーな情報を平等に発信し、どこでも気軽に製品知識や施工技術を高められる。同システムでメンテナンスビジネス展開に役立つ情報も届くほか、施工店の収益向上に貢献する。

注視コーポレーション
クルマの個性を引き立たせるホイールは、クルマの重要な保安部品でもある。インターネットを介した流通が増してきた現在、安心・安全が担保されたアルミホイールを消費者に選択してもらうことが重要になってくる。同社では、今年の新作ホイール「シュア



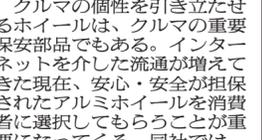
ンハート)にいち早くJAWAロゴの鋳出し文字を入れた。厳しい基準をクリアした製品であることの品質表示を、消費者に分かりやすく表示する取り組みを評価した。

「シュア」の品質表示を、消費者に分かりやすく表示する取り組みを評価した。



「シュア」の品質表示を、消費者に分かりやすく表示する取り組みを評価した。

「シュア」の品質表示を、消費者に分かりやすく表示する取り組みを評価した。



「シュア」の品質表示を、消費者に分かりやすく表示する取り組みを評価した。

「シュア」の品質表示を、消費者に分かりやすく表示する取り組みを評価した。